防除所ニュース　　発行　令和５年７月３日

令和５年　第４号　　京都府病害虫防除所

★ 水稲のいもち病に注意！！ ★

・　６月中旬に行った巡回調査の結果、**葉いもちの発生は平年比多い発生**でした(表 1)。
・　アメダスデータを基にいもち病感染好適日を推定するシステムモデル（BLASTAM）によると、６月上旬以降、いもち病の感染好適日が府内各地で断続的に出現しています（表 2）。
・　６月２９日発表の近畿地方１カ月予報では、向こう１か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多いと予想されており、今後病勢が進展しやすくなると考えられます。
・　今後、移植時の箱施用薬剤の効果が低下することから、伝染源となる**いもち病の発生が目立つ場合は、治療効果がある薬剤**などで防除を徹底しましょう。

☆ 防除上の留意事項 ☆

（１）上位葉へ進展した葉いもちの病斑は、穂いもちの重要な伝染源となる。
（２）コシヒカリ、ヒノヒカリ、祝など発病しやすい品種や、すでに葉いもちが多発している水田や山間部の水田では特に注意し、防除適期に薬剤防除を実施する。
（３）葉いもちの発生が多い場合は、治療効果がある薬剤（カスガマイシン剤：商品名カスミン剤等、フェリムゾン・フサライド剤：商品名　ブラシン剤等）で防除する。
（４）防除の際には、周辺ほ場に農薬が飛散しないよう十分に注意する。
（５）農薬の選択に当たっては、使用時期（収穫前日数）や使用回数等の使用基準を遵守して適正に使用する。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」を参照のこと。
（http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html）

表１　葉いもち発生状況(6月中旬調査)

項目	本年	平年値
発生ほ場率(%)	3.3	1.0
発病株率(%)	1.6	0.1

表２　いもち病発生予察システム　ＢＬＡＳＴＡＭ(アメダス)判定結果

発生指標　●：感染好適条件　　１：準好適条件1　３：準好適条件3　？：判定不能

一般社団法人 日本植物防疫協会　　２：準好適条件2　４：準好適条件4　－：好適条件なし

令和５年(2023年)		６月																												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
京都府	間人	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－
	宮津	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－
	舞鶴	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	●	？
	福知山	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－
	美山	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－
	園部	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	●	－	－	－	－	●	●
	京都	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
	京田辺	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－